

外部へのメール送信に際しての情報（メールアドレス）流出について

県内事業所に対し、「島根県テレワークセミナー」（※1）のご案内をメール送信した際、送信先全員のメールアドレスが表示される形で一斉送信する事案が発生しました。

関係の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

※1 島根県テレワークセミナー

総務省が企業におけるテレワークを推進するため実施している「テレワーク・ワンストップ・サポート事業」の一環として、開催されるもの。

（主催：総務省テレワーク・ワンストップ・サポート事業 地域窓口事務局）

県は後援をしており、主催者からの依頼により企業への周知を行った。

1 事案の概要

「しまねいきいき職場宣言」宣言企業などに対して、セミナーの案内メールを送信した際、本来送信先が分からない「BCC」で送信すべきところ、誤って「TO（宛先）」で送信した。

2 流出した情報

メールアドレス 375件

3 事案の経緯

12月8日（金）

- ・18時20分頃、5グループに分けてメールを一斉送信
- ・上記メールを受信された方から電話連絡があり事案を把握
- ・当該メールを受信された方全員に対し、メール誤送信に関するお詫びと当該メールの削除をお願いするメールを送信

※現時点で被害等の報告は無し

4 発生原因

複数の職員で確認すべきであったが、確認を怠っていた。

5 再発防止策

- ・庁外の複数の宛先にメール送信する際には、送信先がBCCとなっていることを複数職員で確認することを徹底する。
- ・所属内で改めて情報セキュリティに関する研修を実施する。